外国人に着地型旅行PR

関東運輸局が実証事業

英語サイトに全国200商品掲載

国土交通省関東運輸局は12月16日、日本を訪れた外国人旅行者に全国の着地型旅行商品を紹介する英語版ウェブサイトを開設した。外国人の目線で選定した全国の200商品を掲載している。訪日外国人旅行者の地方への誘客に向けて、主な滞在地周辺の着地型旅行商品を活用する実証事業で、開設期間は2017年2月15日まで。

ウェブサイトでは、文化、温泉、アクティビティ、料理などのテーマ別をはじめ、エリア別、季節別で検索が可能。エリアは、関東、北陸、関西、北海道をはじめ全国を網羅している。

各商品のページでは、プログラムの内容や料金、交通アクセス、電子メールなどの問い合わせ先を掲載している。

開設期間中のアクセスや申し込みの状況などを把握し、情報提供の仕組みづくりに生かす。

サイト名は「Treasures in Japanese Optional Tours」。URLは次の通り。

https://www.opt-tours.jp/JPsightseeing/

英語版ウェブサイトの画面

飲食店、観光の新施設を整備へ

大阪城公園

大阪城公園（大阪市）を管理運営する大阪城パークマネジメント共同事業体はこのほど、2017年に二つの施設をオープンさせると発表した。大阪城公園駅前に飲食店などが出店する施設「JO－TERRACE OSAKA（ジョー・テラス・オオサカ、愛称）」を、本丸広場に新しい観光施設を整備する。

「ジョー・テラス・オオサカ」は、大阪城公園の新しいエントランスとして6月に開業予定。観光客や大阪城ホール来場者などの利用を見込んだ飲食店を中心とした施設。鉄骨造り2階建てで延べ床面積は4823平方㍍。

新施設に出展する予定の店舗は、パンケーキの「gram」、鉄板焼の「錦城亭」、カフェの「タリーズコーヒー」、ビュッフェの「城の森ダイニング」など。

本丸広場の観光施設は17年秋に開業予定。歴史的建造物の旧第四師団司令部庁舎を改修し、大阪城天守閣を訪れる観光客を対象に飲食、物販、歴史体験などを提供する施設にする。

出店予定はレストランの「THE LANDMARK SQUARE OSAKA」（仮称）、土産・物販の「大阪城本陣」「忍屋」など。

イベントの様子（写真提供＝ユー・エス・ジェイ）

USJ、大阪城でイベント

戦国テーマにショー

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ、大阪市）は12月16日、期間限定で大阪城を舞台に開催する「戦国・ザ・リアルat大阪城」を開始した。「ユニバーサル・クールジャパン2017」の関連イベントで、開催期間は17年3月12日まで。

大阪城を背景にプロジェクションマッピング、ライブ・ショー、花火を展開するスペクタクル・ライブショーと、戦国時代の城下町をほうふつとさせる「楽市楽座」「大阪城天守閣特別展示」などを行う。大阪市が推進している大阪城PMO事業の一環。JTB西日本が協賛している。

12月15日にはプレスプレビューが開催され、2千人が鑑賞した。

来場したJTB西日本の光山清秀社長は「大阪城とUSJは最強の組み合わせ。夜の時間も楽しめる日本のエンターテインメントを盛り上げ、大阪から日本を元気にしたい」と話した。

イベントのエグゼクティブ・プロデューサーの土居聡氏（ユー・エス・ジェイ）は、「ここから新たな日本の『クール』を発信していきたい。初めてのパーク外イベントはとても大きなチャレンジだった」と語った。

旅行商品の割引支援

鳥取県　復興に国の補助金活用

鳥取県は、鳥取県中部地震を踏まえて観光庁が策定した「鳥取応援プログラム」を活用し、国内旅行の需要回復を目指す。国からの補助金を受け、県が認めた旅行会社が造成する宿泊・周遊ツアーが1月から割引販売されるように支援する。

「とっとりで待っとりますキャンペーン」（国内向け旅行商品造成支援事業）として実施。鳥取県内に1泊以上して周遊を伴う、参加者1人当たり2万円以上のツアーが対象。ツアー費用の最大1万円を補助し、旅行会社が割引販売できるようにする。予算規模は1億5千万円。

割引販売となるツアーの実施期間は1月10日～3月20日。1月6日以降に各旅行会社から順次販売される。

この他、観光庁の「鳥取応援プログラム」では、鳥取県へのメディアの招請事業を行うほか、日本政府観光局（JNTO）を通じた海外への情報発信も強化。地域づくりでは、「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」で倉吉市を支援中であるほか、広域観光周遊ルート「縁の道～山陰～」に関して多言語のパンフレットの作成などを支援している。

宮城県の夏季観光客入込数

14年比増も震災前下回る

宮城県は12月19日、「仙台・宮城『伊達な旅』夏キャンペーン」を開催した2016年7～9月の観光動向の調査結果をまとめた。期間中の観光客入込数は902万1千人。同様のキャンペーンを実施した15年同期比では1・1％減、キャンペーンを実施していなかった14年同期比では6・7％増だった。東日本大震災発生前の10年同期との比較では5・5％減となった。

キャンペーンエリア内の観光施設や宿泊施設、祭り・イベントなど104カ所を抽出して回答を集計した。

観光客入込数を月別に見ると、7月は14年同期比21・1％増の202万3千人、8月は同8・9％増の470万人だったが、9月は同6・8％減の229万8千人だった。10年同期との比較ではすべての月でマイナスだった。

調査対象の宿泊施設（36カ所）の宿泊観光客数は55万8千人で、15年同期比6・1％減、14年同期比3・3％減だった。震災前の10年同期比では0・8％減だった。

エリア別では、県南が14年同期比4・0％減の6万5千人、仙台・松島が同0・9％減の36万7千人、三陸が10・0％減の7万1千人、県北が同8・5％減の5万5千人だった。10年同期比では、仙台・松島以外のエリアはマイナスで震災前の実績に届かなかった。

ポケモンGOで経済効果20億円

石巻でイベント

宮城県は12月19日、位置情報を利用した人気ゲーム「ポケモンGO」のイベントが開催された16年11月11～21日の石巻市の観光客入込数が約10万人に上ったと発表した。同期間中の観光消費額を約20億円と試算している。

県が11月12日に石巻市で開催した「ポケモンGO」関連イベントの来場者が1万人を超えたほか、ゲーム内で珍しいキャラクターの出現率が東北で高まるイベントが行われたことで、入込数や消費が拡大したとみられる。

東映太秦映画村

"江戸の町"彩る光のイベント

東映太秦映画村（京都市右京区）は、「イルミネーション・ファンタジー 光の華まつり」を開催している。開催日は12月23、24、29日と1月3、7、8日。

「イルミネーション・ファンタジー光の華まつり」は、「花」をモチーフに江戸の町を光ファイバーの15万ドットの光の粒と15万球のLEDで華やかに彩る。和の粋で雅な空間演出と最新イルミネーション技術の融合が不思議な空間を作る。

さまざまな光の演出を用意。「おいらん煌（ひかり）道中」は、光ファイバー1万ドットの光る粒を縫い込んだ衣装をまとったおいらんが華やかに練り歩く。

「イルミ侍とあそぼう！」では、光る侍が村内をかっ歩。客も光る剣や光る衣装を身に着け、記念撮影できる。「光のドームトンネル」は、光の海に浮かぶトンネルをくぐり、ドームの中では光の花火が上がる。

時代劇のオープンセットの江戸の町もライトアップされる。水上に輝く「光の華」などの演出もある。

12月20日には、マスコミ向け内覧会が開催された。特別ゲストとしてアソビシステム所属のモデル、柴田紗希さんらが登場。イルミネーション用の特殊な衣装に身を包んで点灯式を行った。

点灯式などが行われた内覧会

体験型観光が日本を変える

<12>

体験教育企画社長　藤澤　安良

2016年は、リオデジャネイロ・オリンピックをはじめスポーツ選手の活躍が目立った。3年半後の東京オリンピックに期待がつながる年になった。熊本地震は甚大な被害をもたらした。その後も鳥取や東北などでも地震が起こっている。防災意識を高めて備えなければならない。

沖縄で心配されていたオスプレイが不時着か墜落かいずれにしても大破した。経過や原因はともかく、沖縄の基地問題に対する不満を増幅することとなった。

ロシアのプーチン大統領が来日した。期待が高まったのは北方領土返還の前進であったが、実効支配が続く中での戦後71年もの歳月が返還を難しくしているのであろう。今知り得る限りにおいて合意に至ったのは、具体的な内容は明らかではないが、特別制度を設けての共同経済活動であった。西年の2017年は、日本で一番早く朝が明け、鶏の鳴き声が聞ける北方領土返還が夜明けを迎えてほしいものである。

北方領土の観光活用を

北方領土での経済交流はいくつもの項目が挙げられているが、目玉になるのは多額の投資を必要とせず、多くのウィン・ウインが期待できる観光である。低迷気味の道東観光の起爆剤になるはずである。なかでも国後島は標津町から24㌔の距離で晴れればいつも見えている島で、大型望遠鏡であり、豊かな漁場であり、風景と味覚については魅力いっぱいの観光地となる。

さらにはヒロシマ、ナガサキ、オキナワに並んで、71年間も行けなかったゆえに平和学習の四大メッカになり、修学旅行の行き先としても脚光を浴びることになるのは間違いない。

例えば、標津町の港から人が見える距離である。限られた枠で元島民の墓参団の訪問が行われてきただけである。激寒の地ゆえに人口は少なく、開発が進むと言っても舗装道路も少なく、日本の田舎の比ではない。以前、秋に択捉島に行った人は、川が鮭の遡上で真っ黒に波打っていたと言う。自然の豊かさは格別で客船、高速船などで午前9時30分に出発し、国後の泊港に10時に到着し、貸し切りバスで島内観光を行い、15時30分に終了し、港で物産の購入時間を確保し、国後16時30分発で標津港に17時に到着する。往復同一の人物が往来する日帰りコースから始める。

元島民は元島民身分登録証を持ち、提示で審査とし、観光客は、運転免許証などの身分を証明する書類審査で乗船許可が出るというシステムにすればよい。旅行費用は船代、貸し切りバス代、ガイド料、昼食代、お土産、ガイドブック、資料代などで構成し、1人当たり1万5千円から2万円で1日限定100人程度とし、年間数億円の売り上げが現地に落ちる。

道東はその前後泊で潤い、羽田―根室中標津便の搭乗率は格段に上がり、機材の大型化や増便、あるいは羽田以外の空港からの路線拡大にもつながる可能性を持つ。この企画のリスクや問題はほとんどなく、両国が合意して最初に取り組める実現可能な経済活動である。17年は戦後71年間の夜明けを期待したい。

総合

WEBマーケティング

インターネット徹底集客

第161回

WEB集客最前線（2016年振り返り）

今号では、2016年の振り返りを行いたいと思う。

16年一番の大きな動きと言えば、やはりインバウンドに関する出来事であろう。大都市のホテルはもちろんのこと、地方の旅館・ホテルにまで海外ゲストが来館したり、海外OTAからの予約が急増したりと、その影響を肌感覚でも実感した施設も多いかと思う。

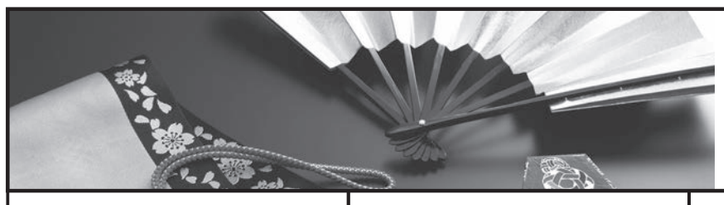
ただし、以前にお伝えしたように、ここに来て全体で見れば増加しているものの、地域別に見れば前年対比で減少に転じている地域もあり、現在は一服感がある。とは言え、今後、世界中の旅行人口は増え続けることが予想される。伸びしろがある市場であるので、これまでにも増して十分な対応をしていく必要があろう。

続いて、動画コンテンツの隆盛である。こちらも以前にお伝えしたように、ホームページに動画を搭載して、その魅力を伝えるという施策が広がりを見せた。日本のみならず世界的なトレンドであることもお伝えしたが、特に旅館・ホテルでは従来、訪問することでしか味わうことのできなかった臨場感を、よりリアルに体感することができ、その魅力を伝えやすくなったと言えるであろう。

三つ目は、SNSの流行に伴う情報配信の変化が挙げられるであろう。まだまだ集客に十分寄与している施設は多くないと思うが、若年層を中心としたユーザーが活用していることは間違いない状況であり、こちらも遅かれ早かれ取り組まざるを得ないものとなるであろう。試しにインスタグラムで屋号検索をかけてみると分かると思うが、自施設に関して驚くほど多くの写真投稿がなされていることに気付くかと思う。

16年、特に注目度の高かった事象3点について述べたが、これ以外にも多々動きがあった。特にWEBの世界は動きが早いと言われているように、あっという間に情勢が変わることも少なくない。それだけに未来を予測することは困難であるが、時流をとらえて、乗り遅れないように都度、対策を立てていくしかない。今後も時流適応するための情報をいち早くお伝えしていきたいと思う。

（株式会社アビリティコンサルタント・株式会社プライムコンセプト　内藤英賢）＝隔週掲載



謹賀新年

平成29年 賀正

新潟県湯田上温泉
ホテル小柳
〒959-1502 新潟県南蒲原郡田上町　湯田上温泉
TEL ○二五六―五七―五〇〇〇
FAX ○二五六―五七―四九二九
http://www.oyanagi.co.jp

新潟県月岡温泉
ホテル清風苑
心きよらの旅 清風苑 SEIFUEN
代表取締役
樋口恵一
新潟県新発田市月岡温泉278-2
TEL 0254-32-2000
FAX 0254-32-2945

ふくしま・磐梯熱海温泉
四季彩 一力
HOTEL SHIKISAI ICHIRIKI
代表取締役社長
小口憲太朗
「日本の宿を守る会会員」
〒963-1309
福島県郡山市熱海町熱海4―161
TEL 024（984）2115
FAX 024（984）3711

五頭連峰県立自然公園
村杉温泉
風雅の宿
長生館
政府登録国際観光旅館
代表取締役
荒木紀子
新潟県阿賀野市　村杉温泉
TEL（0250）（66）2111(代)
FAX（0250）（66）2151
郵便番号　959-1928
http://www.chouseikan.co.jp

離れの湯けむり座敷「季里の湯」
政府登録国際観光旅館
株式会社湯沢グランドホテル
代表取締役
村山桂子
〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢2494
電話（025）784―2351（大代表）
URL http://yuzawagrandhotel.jp/

創業1806年・熱海温泉
古屋旅館
FURUYA RYOKAN
代表取締役
内田宗一郎
熱海市東海岸町5-24
電話：0557-81-0001
E-Mail：info@atami-furuya.co.jp

冨士商事株式会社
ハトヤホテル サンハトヤ
代表取締役社長
原口茂
〒414-0002 ホテルサンハトヤ
静岡県伊東市湯川五七二―十二
TEL○五五七―三六―四一二六
FAX○五五七―三六―六二四八

箱根強羅温泉
強羅花扇　円かの杜
早雲閣
代表取締役　飯山和男
株式会社強羅花扇
〒250-0408
神奈川県足柄下郡箱根町強羅1320－681
TEL（0460）87－7715
http://www.gorahanaougi.com/

秀峰閣湖月
SHUHOUKAKU KOGETSU
代表取締役社長
小佐野国博
〒401-0304
山梨県南都留郡富士河口湖町河口2312
TEL.（0555）76-8888（代）
FAX.（0555）76-8940
http://www.kogetu.com/

下部温泉
自然のままに 心のままに
まっくん ぽっくん
下部ホテル
代表取締役社長
矢崎崇
〒409-2947
山梨県南巨摩郡身延町上之平1900
TEL 0556-36-0311(代)
FAX 0556-36-1611

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉
慶雲館
代表取締役社長
深澤雄二
〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL.0556-48-2111(代) FAX.0556-48-2611

ふくしま あだたら高原 岳温泉
陽日の郷 あづま館
会長　鈴木安一
Yasuichi Suzuki
〒964-0074
福島県二本松市岳温泉1－5
TEL 0243－24－2211
FAX 0243－24－2671
http://www.azumakan.com/

有縁の湯
赤倉ホテル
代表取締役
村越昭文
新潟県妙高市赤倉四八六
〒九四九―二一一一
TEL（〇二五五）八七―二〇〇一(代)
FAX（〇二五五）八七―二〇三三